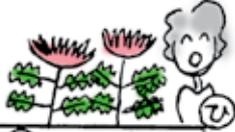


ほのかもん

185 ベーブんこ



神舞奉納～伝統の灯りを守る～

平成 22 年に約 70 年ぶりに復活した大崎町の伝統芸能の神舞が、10 月 28 日 (日)、都萬神社において奉納されました。今年から新たに『小鬼神舞』が追加され、3 名の小学生が熱演しました。
※神舞奉納の様子は、次号で紹介します。

今月の表紙

薩摩郷句

兼題「女房」

グリツ脱だ裸ん女房い湿布貼い
(唱) 年季ん入った 仲ん良か夫婦

上村牛歩

思もた事喫つ飲つ気楽き女房ん留守

(唱) ゆつくいしつ来 俺や心配あ無じ

諸木小春

定年亭主し女房あパートい逃げ出せつ

(唱) まこちやぜろし 宅ん濡れ落葉

北村虎王

やんかふい女房も今日は美人仲人日

(唱) 女房を見直えた 良か仲人日

植村昭子

女房が先き逃げばばつたい主婦仕事

(唱) 心配ゆせんばつ 俺が先じゃが

諸木美舟

大崎短歌会

敬老の祝に四歳の晃成のよちよち文字の便りうれしき

穂園芳江

法師蟬つくつく一生と啼きにけりつくつく一生つくづくいっしやう

溝口 稔

ほの甘い潮の香りよ志布志湾 風が生きてる私も生きてる

宮原のり

これでいい今日やるべきを全て終え星のきらめき窓ごしに見る

児玉チツ

笑い声どたばた音の置土産八月半ばに帰りし孫の

高瀬睦子

大崎俳句会

十三夜一人まどろむ窓辺かな

折田スズ

慰霊塔苔落す背に秋の声

宮下のし

老いて知る老の真実秋の月

益倉睦美

夕虹や海を跨いではるかなる

坂元つる子

山路来て古道ふさぐや葛の花

宮脇洋子

夕立の音して野菜炒めけり

町田ヤス

枝豆を双子に剥きつ若き母

内村美恵子

人権啓発シリーズ 24-7

○子どもの人権 (大崎町人権教育・啓発基本計画より)

施策の方向性

- ①子どもを一人の独立した『権利の主体』として捉える『児童の権利に関する条約』の理念を踏まえ、子どもとしての権利や自由を尊重していきます。
- ②家族間の人間関係が人権マインドの基本となるので、家庭教育の充実を図るための施策を推進します。
- ③幼児期からの発達段階に応じた人権教育を推進し、豊かな人間関係を醸成する教育の充実を図ります。
- ④学校教育・社会教育を通じて、社会全体で人権尊重の意識を高める施策を推進します。
- ⑤児童虐待やネグレクト、校内暴力、いじめ、不登校などの問題解決に向け、学校・家庭・地域や関係機関と連携し、支援体制の整備を図ります。